

ソフトクローズ上部吊り車の特徴

- ソフトクローズ上部吊り車は、『吊り車1個で両側ソフトクローズできるタイプ』と、『吊り車1個で片側のみソフトクローズできるタイプ』の2種類に大きく分かれて、それぞれ特徴があります。

『吊り車1個で両側ソフトクローズできるタイプ』

- メリット** → 『片側のみソフトクローズできるタイプ』を2個使用する場合に比べて、狭い戸幅に対応でき、コストも抑えられます。
- デメリット** → レール内に取付ける戸尻側用トリガーの位置は戸幅によって異なるため、都度計算していただく必要があります。

『吊り車1個で片側のみソフトクローズできるタイプ』

- メリット** → 戸先のみソフトクローズを機能させ、戸尻側は標準の上部吊り車や、ブレーキ付き上部吊り車などにする事ができます。また、戸先・戸尻の両方に使用する場合のトリガー位置は、どちらも所定の位置で良いため、戸幅に応じてトリガー位置を算出する必要がありません。
- デメリット** → 戸先・戸尻の両方に使用した場合、戸幅はソフトクローズ付き吊り車2個分の長さ以上となり、狭い戸幅に対応できない場合があります。

マルチソフトクローズユニットの特徴

- マルチソフトクローズユニットは、様々な納まりに対応できる汎用性の高い商品です。

- メリット** → 枠より約120mm手前から、自動で戸を引込みます（ソフトクローズ上部吊り車の作動距離は約50～90mm）。戸を吊ったままでユニットの着脱が可能なので、上部吊り車ソフトクローズに比べるとメンテナンス性に優れており、戸袋納まりに最適です。ダブルオープン納まりにしたい場合、すべての戸にソフトクローズをつけることができます。
- デメリット** → 上部吊り車用の掘込のほかに、マルチソフトクローズユニットを取付けるための掘込加工が必要となります。

	品名	掲載ページ	主な使用レール
AFD SYSTEM	マルチソフトクローズユニット	246,248~249	AFD-1500 
	マルチソフトクローズ 併用納まり	247~249	
	マルチソフトクローズ 戸袋納まり	250~252	
	マルチソフトクローズ ダブルオープン納まり	253~261	
	2wayソフトクローズ	262~265	
	2wayソフトクローズ ロングストローク	266~267	
	2wayソフトクローズ 戸袋納まり	268~271	AFD-1560 または AFD-1360
	ソフトクローズ	272~273	AFD-1500 
	ソフトクローズ 引分け	274,276~277	
	ソフトクローズ コーナー納まり	275~277	
	ソフトクローズ ロングストローク	278~279	
	ソフトクローズ & ブレーキ	280~281	
	ブレーキ (ブレーキ力調整レバー式)	282~283	
	標準 AFD-2950	284~285	
標準 AFD-2950-K			
直付吊り車 AFD-2750-K	286~287		
下荷重2wayソフトクローズ	288~290		
アウトセット	291~294	FK-100 または AFD-1500-OS	
重量SD SYSTEM	2wayソフトクローズ	299~300	SD-1000 
	ソフトクローズ	301~302	
	標準 SD-7000	303~304	
	アウトセット	305~307	SD-1000-OS

ドア錠

1

丁番

2

スライド

丁番

3

開き戸

金具

4

引戸錠

5

引戸

金具

6

上吊式

引戸金具

7

移動

間仕切

金具

8

折戸

金具

9

室内用

アルミ建具

10

取手・

引手

11

スライド

ワイヤー

バスケット

12

収納・

吊金具

13

その他の

家具金物

14

物干金具・

諸金具

15

真鍮

アンティーク

16

設計

施工

ガイド

会社案内